全国大会・九州大会へ出場 津久見少年野球部

５月から６月にかけて開催された「高円宮賜杯第３９回全日本学童軟式野球マクドナルド・トーナメント大分県予選大会」で見事、優勝を果たした津久見少年野球部が、８月１８日から東京都で開催される全国大会に出場します。また、４月に開催された「みやざきフェニックスリーグ杯津久見市予選」で勝ち抜き、優勝した結果、８月１０日から宮崎県で開催される九州大会にも出場します。

７月１０日、４年生から６年生の部員１４名が県大会優勝と全国大会出場を川野市長に、７月５日、３年生から６年生の部員２１名が市内予選優勝と九州大会出場を平山教育長にそれぞれ報告し、市長、教育長が激励の言葉を述べました。

その後、部員を代表して、近藤兵衛主将が「１つでも多く勝てるよう、優勝目指してがんばります。」と力強く抱負を述べ、活躍を誓いました。活躍を期待しています。頑張ってください。

健康な身体づくりと地域住民の親睦のために
第43回町内対抗バレーボール大会

準優勝したＴＩＭチーム

優勝した千怒チーム

敗者復活の部優勝の川上チーム

７月４日・５日の２日間、市民体育館で「第４３回町内バレーボール大会」が行われました。

７チームの参加のもと熱戦が繰り広げられ、決勝戦では千怒チームがTIMチームを下し、優勝を飾りました。おめでとうございます。期間中は、大会の目的でもある「健康な身体と体力向上」、「地域住民の親睦」が十分に図られ、大きな事故やケガもなく、白熱した試合の多い大会となりました。出場された選手のみなさん、大変お疲れ様でした。

津久見市民図書館に
自動販売機を設置しました

平成３０年度の津久見市子ども市議会において、子ども議員から要望がありました飲み物の自動販売機が、関係各所のご協力により、７月４日、津久見市民図書館玄関前に設置されました。かわいい「つくみん」のイラストが載ったこの自動販売機は、災害時にも利用できる自動販売機となっています。

西日本大会に出場 大分南リトルシニア

５月に開催された日本リトルシニア中学硬式野球協会「第４７回日本選手権九州予選大会」において、優秀な成績を収めた大分南リトルシニアが、８月８日から愛知県で開催される「２０１９ 第９回日本リトルシニア西日本選手権大会」に出場します。

７月１７日、津久見市の中学校に通う選手１３名が市教育委員会を訪れ、平山教育長に九州予選大会での結果と西日本大会出場を報告し、教育長が激励の言葉を述べました。また、８月７日から茨城県で開催される女子選手の大会「第２回 Girls Championship」に九州選抜選手として、樋口心菜選手が選出され、全国の舞台で戦います。

水辺空間の利活用について考えました
図書館まわりの水辺について考えるWS

７月８日、第一中学校の１年生を対象に、市民図書館周辺の水辺空間の利活用について考えるワークショップを開催しました。生徒たちは、図書館周辺の図面を広げ、普段の利用していることや問題点などの意見を出し合いながら、より良い川の利活用について深く考えました。

高校生から販売の基礎を学ぶ
『つくみ蔵』体験学習

７月１７日、津久見小学校の５・６年生の希望者１４名を対象とした『つくみ蔵』体験学習が開催されました。今回は、ワークシートをもとにつくみ蔵の商品の復習をした後、グループになって、販売と基本となる「接客マナー」について、やってはいけない接客などの意見を出し合いながら、積極的に学んでいました。

新たに8名の扇子踊り娘が誕生
津久見扇子踊り娘認定式

７月２４日、市役所で「津久見扇子踊り娘認定式」が行われました。今年は、新たに８名が選ばれ、総勢１７名になった扇子踊り娘が、津久見市の顔として、津久見市のＰＲ活動に活躍してくれます。

扇子踊り娘のみなさんは、扇子踊り大会までに市内の保健・福祉施設を訪問したり、市外の各報道機関へ、今年の扇子踊り大会の宣伝とＰＲを行う予定です。今年の津久見扇子踊り大会は、８月２４日に開催されます。

「２０１９津久見扇子踊り娘」に認定された方は、下記のとおりです。

藤　丸　綾　乃　さん（株式会社戸高鉱業社）
古　木　南　帆　さん（小代築炉工業株式会社）
髙　野　ひなた　さん（徳脇工業株式会社）
川　野　琉　奈　さん（株式会社豊和銀行津久見支店）
山　崎　知　美　さん（白川病院）
中　野　菜々子　さん（大分県立津久見高等学校）
長　木　　響　さん（大分県立津久見高等学校）
松　下　穂乃花　さん（大分県立津久見高等学校）

平和の尊さを伝える
「戦争の記録から学ぶ平和の尊さ」展

７月２３日から市民図書館にて、保戸島空襲を中心とした戦争事象や戦争に対し、津久見の人たちがどう向き合い、関わっていったのかを数々の資料を展示して伝える企画展が開催されています。市内各所に残る戦没者供養塔の展示パネルを始め、保戸島空襲を伝える手作りの資料や中津留大尉の写真などが展示されています。

生まれ変わった橋に橋名板を設置
橋名板揮毫に係る記念品贈呈式

平成２９年台風第１８号により被災した市内の４つの橋の復旧工事が８月末にすべて終わります。津久見市では、橋の復旧を記念し、子どもたちにいつまでも古里のことを大切に思ってもらう取り組みとして、生まれ変わった橋に市内の小学校６年生が「揮毫（きごう）」した橋名板を取り付けることとしました。

７月には、文字が選ばれた児童へ感謝を伝えるため、記念品贈呈式を各小学校で執り行いました。４つの橋のうち、赤木橋、道籠橋、上天神橋の３つの橋には、すでに橋名板が設置されており、地域の方々が待ち望んだ橋の復旧に立派な橋名板が花を添えています。橋橋も８月末には、設置が完了する予定です。

※市ホームページ内「取材日誌」、市公式フェイスブックにて、掲載できなかった写真や記事をご覧いただけます。